

謹賀新年



たつの市議会議長
角田 勝



たつの市長
山本 実

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお過ごしのことと心からお慶び申し上げます。
平素は議会活動に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。
平成17年に1市3町が合併して「たつの市」となってから、早いもので、今年の10月で20年が経過します。この20年の間に少子高齢化がさらに進行し、情報化、国際化の進展により社会の変化はいっそう早くなっております。そのような社会情勢においても市議会では、市民の皆様により寄り添い、皆様からいただいたご意見を最大限、市政に反映させるために努めてまいりました。今後も、将来にわたって多くの方が「暮らしてよかった」「訪れてよかった」と思える魅力あるまちづくりを目指し、市民の皆様から負託を受けた市議会としての役割を精一杯果たしてまいります。
さて、昨年を振り返りますと、本市出身の川口うらら選手が、自転車競技マウンテンバイク（女子クロスカントリ）において、日本代表としてパリオリンピックに初出場されました。オリンピックという大舞台に立って貴重な経験を積まれた川口選手をはじめ、たつの市から世界を目指す選手たちを、市議会といたしましても応援してまいります。
また、「たつの市龍野伝統的建造物群保存地区」が、令和元年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されてから5年が経過しました。江戸時代から昭和戦前期までにかけて建てられた伝統的建造物が良好な状態で残されており、市内外からお越しになった多くの観光客に好評をいただいております。AR（拡張現実）を用いたまち歩きアプリも公開しており、より楽しく散策・観光し、龍野の歴史の深さを存分に堪能していただけるようになっております。
一方、子どもに対する声かけ事案、無断撮影事案、凶器を見せつける事案等が、全国的に依然として発生しています。このような状況を鑑み、子どもの心身が健やかに成長できるまちとなるよう、議会からの提出による政策条例として「たつの市子どもを犯罪の被害から守る条例」を制定いたしました。市民の皆様が安全で安心して生活できるよう、今後も全力で取り組んでまいります。
結びにあたり、本年もたつの市議会への力強いご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。
令和7年の新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
本年は「たつの市」が誕生してから、20年の節目の年を迎えます。これまで本市のまちづくりに携わってこられた多くの先人のご努力に思いを馳せながら、これからの本市の発展、そして新たな時代に繋げていくため、「たのしたつの市輝く未来へ」をキャッチフレーズとし、市民の皆様と共に「市制施行20周年記念事業」を展開してまいります。
さて、市政運営につきましては、本市の南玄関口であるJR山陽本線竜野駅の駅舎橋上化が本年中の完成を予定しており、駅利用者の利便性向上と交通結節機能が強化されます。また、JR姫新線本竜野駅周辺につきましても、中心市街地の活性化を図るため、土地利用やまちづくりの方向性を検討してまいります。さらに、新たなにぎわいを創出する「龍野IC周辺まちづくり区画整理事業」を重点プロジェクトとして推し進めてまいります。昨年は合併後初めて本市からオリンピック選手が誕生するなど、大いに盛り上がりを見せたスポーツ分野におきましては、市内初の人芝の多目的グラウンドを整備し、スポーツ人口の増加や地域スポーツの活性化を進めてまいります。
また、物価高騰が長期化する中で、子育て世帯への経済的負担を軽減する施策の拡充・強化に取り組みます。加えて、国内の高齢者数がピークに達する2042年を見据え、高齢者の自立支援や介護予防に重点を置いた質の高い福祉サービスの提供に努め、少子高齢化、人口減少社会に対応した包摂的で持続可能なまちづくりを積極的に推し進めます。さらに、DX・GXの取組を推進するとともに、限られた経営資源を最大限活用し、健全財政の堅持に努めます。
本市が更なる飛躍をしていくため、市民の皆様と共に「未来応援 住みたいまち たつの」の実現に向け、本年も全力を挙げて取り組んでまいりますので、引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
本年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。